

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

【お願い】
アンケート回答の前に県政モニターID
番号を左の枠内に記入してください。

県政モニターID番号がご不明の場合は
お手数ですが本人確認のためお名前、
生年月日のご記入をお願いします。

【記載例】 長野 太郎
(生年月日 昭和22年2月22日)

(生年月日 年 月 日)

長野県には、3,000m級の山岳が15座あるほか、県土の約8割が森林に覆われています。「山」は、私たち県民の生活、文化、産業といった様々な面で関わりがあるといえます。問1から問8では、長野県の「山」に関する県民の皆様の意識等をお伺いします。

問3 あなたは、日頃、長野県の「山」とどのような関わりを持たれていますか。あてはまるものを選んでください(はいくつでも)。

山岳環境保全活動

狩猟

森林整備(仕事として)

森林整備(ボランティアとして)

薪の調達

きのこ・山菜狩り

観光(利用者として)

観光(事業者として)

スキー・スノーボードなどのウィンタースポーツ

登山・トレッキング

環境学習

日常的な生活の場

信仰

森林などの所有者

その他()

特になし

問4 あなたは、長野県の「山」に関して、どのような課題があるとお考えですか。あてはまるものを選んでください(はいくつでも)。

オーバーユース(登山者の増加に伴う植物への影響、ゴミ問題等)

山小屋トイレの管理

登山道の維持・修繕

野生鳥獣による高山植物の食害

野生鳥獣による農林業被害

狩猟者の減小

山岳環境の保全を担う人材不足

森林整備を担う人材不足

森林の荒廃

観光客の減少

観光施設等の維持・向上

観光利用等のPR

山岳遭難事故

「山」に関する学習機会の不足

「山」に関する課題の解決に必要な経費の捻出

その他()

特になし

- 問5 県では、長野県の「山」を対象とした記念日（以降、「山の日」（仮称）と呼びます。）の制定に向け、現在検討を進めています。
あなたは、長野県の「山の日」（仮称）を制定することに賛成ですか、反対ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

賛成

わからない

条件付きで賛成

反対 問9へ

また、上記の答えを選んだ理由を記載してください。

理由()

- 問6 問5で 、 または と答えた方に伺います。仮に、長野県の「山の日」（仮称）を制定するとした場合、いつ頃がよいとお考えですか。またその理由をお書きください。

日付・時期等 ()

記載例： 月 日、 月、 月～ 月、 季

理由 ()

- 問7 問5で 、 または と答えた方に伺います。仮に、長野県の「山の日」（仮称）を制定するとした場合、どのような名称がよいとお考えですか。

名称 ()

- 問8 問5で 、 または と答えた方に伺います。仮に、長野県の「山の日」（仮称）を制定するとした場合、制定に向けて県はどのような取組を進めていくべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください(はいくつでも)。

環境保全活動

自然観察会

木工教室

植樹祭

森林ボランティア

登山イベント

きのこなど特産品のPR

イベント情報の作成

イベント等への助成

施設利用優待

都市部への長野県の山のPR

登山者向け講習会

山岳遭難防止の啓発活動

写真や絵画等のコンクール

シンポジウム

その他()

特になし

【児童虐待防止対策について】

児童虐待は児童相談所の対応件数が全国的に増加し、死亡事例も後を絶たないなど、社会全体で解決すべき大きな課題となっています。

このため、虐待防止に係る県民の皆様の意識や効果的と考える防止施策を把握し、長野県にふさわしい、今後の児童虐待防止施策を企画・立案するための基礎資料として伺います。

また、昨年度、児童虐待防止対策を強化するために緊急的に実施した広報啓発事業の浸透度について伺います。

子育ての負担・悩みについて

問9 あなたは、家庭での子育ての経験がありますか。（ は1つ）

経験あり

経験なし 問14へ

問10 問9で、「経験あり」と答えた方にお伺いします。

あなたが、子育てを負担に感じる（感じた）、または子育てに悩む（悩んだ）ときはどのような場合ですか。あてはまる場合をすべて選んでください。

（ はいくつでも。ただし、を選んだ場合は、他の項目は選ばないでください。）

子どもが言うことを聞かない（聞かなかった）とき

しつけの仕方や叱り方など対応の方法がわからない（わからなかった）とき

仕事や生活などが大変で、気持ちに余裕がない（なかった）とき

夫や妻（内縁関係である場合を含みます）、その他の家族・親族から子育ての協力が得られない（得られなかった）とき

自分が病気である（であった）とき

子育てしている（していた）間はいつも

その他（具体的に）

子育てを負担に感じる（感じた）ことや、悩む（悩んだ）ことがない 問14へ

問11 問10で、と答えた方「以外」の方にお伺いします。

あなたは子育ての負担や悩みについて、だれ（どこ）かに相談しましたか。

（ は1つ）

相談した 問12へ

相談しなかった 問13へ

わからない、覚えていない 問14へ

問12 問11で、「相談した」と答えた方にお伺いします。
だれ（どこ）に相談されましたか。あてはまるものをすべて選んでください。
（ はいくつでも）

夫や妻（内縁関係である場合を含みます）

その他の家族や親族（親、きょうだいなど）

隣近所の人

子どもが通う保育所や幼稚園、学校の親仲間

子育てサークルなどの親仲間

インターネット（ブログ、サイト、ツイッターなど）

友人・知人（ ～ 以外）

市町村の相談窓口（福祉事務所、児童福祉担当課、子育て支援担当課など）

市町村の保健センター

民生・児童委員、主任児童委員

子育て支援センター、子育てサロン（親子のつどいの広場）など

保育所、幼稚園、学校の教職員

病院の医師、看護師、助産師など

児童相談所

保健所

県の福祉事務所

民間の電話相談や相談室など

県の児童虐待・DV 24時間ホットライン

その他（具体的に

回答後は、問14 へ

問13 問11で、「相談しなかった」と答えた方にお伺いします。
相談しなかった理由として思いあたることをすべて選んでください。（ はいくつでも）

相談するほどのことではないと思ったから

自分自身で解決（対応）すべきことだと思ったから

ほかの人にはわかってもらえないことだと思ったから

ほかの人に知られたくなかったから

相談できる相手がいなかったから

どこにどう相談していいかわからなかったから

相談したら、逆に親の自分が責められると思ったから

その他（具体的に

問14 すべての方にお伺いします。

子育ての負担や悩みを抱えた親（保護者）に、関係機関（市町村の相談窓口、児童相談所など）へ早期に相談してもらうためには、次のうちどのようなことが最も重要だと思いますか。（ は1つ）

どのような相談先があるのか周知すること

相談した場合にどのような支援が受けられるのか周知すること

こんにちは赤ちゃん事業（ ）など、家庭への訪問活動を増やすこと

行政の窓口だけでなく、身近な相談先（例：NPO法人、子育てサークルなど）を増やすこと

その他（具体的に

「こんにちは赤ちゃん事業」とは、保健師などが生後4カ月までの赤ちゃん（乳児）がいる家庭を訪問し、親子の心身状態や養育状況の把握、育児についての助言などを行う市町村の事業です。

児童虐待防止について

問15 「児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）」では、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、市町村または児童相談所（もしくは福祉事務所）に通告（相談）しなければならないと、通告の義務が規定されています。あなたはこのことを知っていましたか。（ は1つ）

通告・相談先を含めて、通告の義務があることを知っていた

通告・相談先は知らなかったが、通告の義務があることは知っていた

通告・相談先は知っていたが、通告の義務があることは知らなかった

まったく知らなかった

問16 もし、あなたが児童虐待を受けたと思われる児童を発見して通告（相談）するときに、不安に思うことをすべて選んでください。
（ はいいくつでも。ただし、 を選んだ場合は、他の項目は選ばないでください。）

特にない

すぐに対応してもらえるだろうか

通告されたことに子どもの親（保護者）が腹を立て、虐待がますますひどくなるのではないか

親（保護者）が逮捕されたり、子どもが施設に送られるなど、大変なことになるのではないか

虐待ではなかった場合、あとで自分が責任を負わされるのではないか

自分が通告したことが、子どもの親（保護者）や家族にわかってしまうのではないか

通告したことでその子どもの親（保護者）や家族との関係が気まずくなるのではないか

通告（相談）の手続きなどが面倒ではないか

その他（具体的に

問17 次にあげる親（保護者）の「行為（行為をしないことを含む）」で、あなたが児童虐待にあたると思うものをすべて選んでください。（ はいいくつでも）

- 買い物をしている間、乳幼児を車の中に残しておくこと
- 子どもに「あなたなんか、生まれてこなければよかった」とたびたび言うこと
- 夜、寝かしつけた幼い子どもを家に残して、外出すること
- カッとなって、つい子どもを叩いてしまうこと
- 子どもからの話しかけを無視して、それに答えないこと
- しつけのために、子どもにげんこつをすること
- 思春期の子ども（異性）の体を必要以上にさわること
- ほかのきょうだいと比べて特定の子どもに対して異なる扱いをすること
- 子どものおむつや衣服が汚れていても、取り換えない（着替えさせない）こと
- 子どもの将来を考え、子どもに長時間、勉強やスポーツをさせること

問18 虐待を受けたり、その可能性が疑われる子どもを早期に把握するためには、次のうちどのようなことが最も重要だと思いますか。（ は1つ）

- 通告制度について周知すること
- どのような行為が虐待にあたるのか周知すること
- 保育所、学校、病院など、日常的に子どもと関わる機関が的確に子どもの状況を把握すること
- こんにちは赤ちゃん事業などの家庭訪問活動により、子どもや親に対する直接的な働きかけを増やすこと
- 民生・児童委員などによる地域の見守り活動を強化すること
- 児童虐待に対応する市町村や児童相談所の相談体制を強化すること
- その他（具体的に _____）

児童虐待防止に関する県の広報啓発について

添付資料を参考にしてください。

問19 今年3月まで県が実施した下記の広報啓発について見たこと（聴いたこと）があるものにつけてください。（ はいいくつでも）

- 「児童虐待防止」の広告を掲載したバス、電車
- 「児童虐待防止」や「子育ての悩み相談」、「妊娠・出産の相談」に関するテレビコマーシャル
- 「児童虐待防止」や「子育ての悩み相談」、「妊娠・出産の相談」に関するラジオコマーシャル
- 「児童虐待防止」や「子育ての悩み相談」、「妊娠・出産の相談」に関する新聞広告
- から についてまったく見たこと（聴いたこと）がない 問22へ

問20 問19 から のうち、1つでも「見たこと(聞いたこと)がある」方にお伺いします。
見た(聞いた)ことで、「児童虐待」や「子育て」、「妊娠・出産」に関して、あなたの
意識や行動に何か変化はありましたか。(は1つ)

変化があった 問21へ

変化はなかった 問22へ

どちらとも言えない・わからない 問22へ

問21 問20で、「変化があった」と答えた方にお伺いします。
その意識や行動の変化とはどのようなものですか。あてはまるものをすべて選んでくださ
い。(はいいくつでも)

児童虐待が社会的に重要な問題だということを理解した

児童虐待やその疑いに気がついたら、どのように行動すればよいか分かった

児童虐待やその疑いに気がついたら、すぐに連絡(通告)しよう(したい)と思うようになった

児童虐待の可能性のある子どもの状況(サイン)が理解できた

日常生活の中で自分の周囲の子どものしぐさや行動を意識して見る(見守る)ようになった

妊娠・出産・子育てについて、悩みを持つことはあたり前のことなのだと気づいた

妊娠・出産・子育ての悩みを、まず誰かに相談することが大切だと理解した

妊娠・出産・子育ての悩みを抱えたら、どこに相談すればよいか分かった

妊娠・出産・子育ての悩みを、積極的に相談するようになった

(妊娠・出産・子育ての悩みを抱えたら、積極的に相談したいと思うようになった)

周囲の妊娠中、子育て中の親(保護者)に対して、できる手助けや支援をする(したいと思う)
ようになった

妊娠・出産・子育てのことを、今までよりも真剣に考えるようになった

その他 (具体的に)

最後に（児童虐待の原因と解決策について）

- 問22 児童虐待が発生する原因は何だと思われますか。
また、それをなくしていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。
あなたの考えを教えてください。（自由に書いてください。）

【お知らせ】県からの情報提供について

アンケート調査以外に県からの各種情報提供（公募委員募集等の案内を含む）を希望する場合には下記の にチェック「✓」をお願いします。県政モニター登録の際に情報提供を希望されている場合はチェック不要です。

- 平成25年度に情報提供をする予定の項目
- ・県民協働による事業改善制度点検者の募集
 - ・各種審議会公募委員の募集

☐

チェックした場合には必要な範囲で登録された情報を関係する課に提供する場合があります。